

「きみつシン地域づくり懇談会」の実施結果について

市民生活部

1 実施の目的

新たにスタートすることを検討している「地域づくり協議会」制度の具体化に向け、制度イメージについての理解を深めていただくとともに、各地域における意向・機運を確認しながら、意見聴取等を行うことを目的として実施した。

2 日時・会場・参加者数

小櫃	10月 3日 (火)	18:40~20:30	小櫃公民館 講堂	14名 (男10・女4)
上総	10月 4日 (水)	18:35~20:30	上総地域交流センター 多目的ホール	12名 (男9・女3)
小糸	10月 5日 (木)	18:30~20:30	小糸公民館 講堂	13名 (男7・女6)
清和	10月 6日 (金)	18:30~19:35	清和公民館 ホール	6名 (男5・女1)
君津	10月10日 (火)	18:30~20:30	市役所 5階大会議室	38名 (男29・女9)

5会場合計 83名

3 実施内容

- (1) 新制度「地域づくり協議会」のイメージ説明、質疑
- (2) グループトーク「私たちの地域で“地域づくり協議会”をつくるとしたら…」
 - ① 地域を活性化するために活かせる地域の資源や、地域共通の課題は。
 - ② これからの地域には何が必要か。どんな活動をしてみたいか。
 - ③ そのために、協議会に必要な人は。
- (3) 全体を通しての質問・意見
- (4) まとめ

4 主な質問や意見等

- ・将来に向けた展望を地域の住民で分かち合い、地域の維持と存続を図るためには良い制度だと思う。
- ・時間がかかるかもしれないが、すごく楽しみ。

- ・人材の発掘や地域の魅力を活かす取組みなど、新たな地域づくりに希望が持てる。
- ・有志が主体的に地域を良くしていく活動をするとても可能性のある制度。実行力と継続性をどう担保していくかが課題。
- ・自治会と連携しつつ、他地域の方とも交流がもてるので、とても良いと思う。
- ・地域づくり協議会と自治会との関係はどうなるのか。
- ・市民に対して、これから行政だけではなく、市民みんなでまちを作り上げていくんだよという意識づけの意味でも、また、人材の確保もみんなでやっていくという意味でも、あらゆる手立てを講じて、まちづくりを盛り上げていくべき。
- ・方向性、目的などが明瞭でないので、これをはっきりさせていきたい。
- ・今までは会議だけの協議会が多かったが、地域づくり協議会は出した意見を行動・実践する組織であるべき。
- ・スピード感が大事。市として横断的に調整できるような体制があるのか。
- ・地域内や市内全体で、情報共有するシステムが必要。
- ・地域団体の連携の中心となる取りまとめの団体が必要と考える。
- ・地域づくり協議会と地域課題をどう関連づけていったらいいのかが課題。
- ・公民館を拠点としたハード面の整備と関連させて取り組むために早めの設立が必要。
- ・準備会「前」の地域での話し合いが必要。
- ・集め方を考えていかないとせっかくの機会が将来に向けて機能しない。
- ・若い人、外から関心を寄せる人をいかにメンバーに呼び込むかを考えていきたい。
- ・コーディネーター役としての市の役割が大変に重要。
- ・市に支えてもらいながら、ボトムアップ制度であってほしい。
- ・職員の配置が一番大事なことで、支えてもらえることでやる気にも繋がる。
- ・市民もチャレンジするので、職員にもぜひチャレンジしてもらいたい。

5 今後の見込み

～2月下旬	各地域での参加者の反応等をもとに、設立準備会発足に向けての地域の検討
	補助金要綱、手引き（マニュアル）の策定
令和6年度	清和地区 地域づくり協議会の認定
	その他の地域（未定）の設立準備会の発足